

まべりはむし

第9巻 第1号

目 次

宍粟郡一宮町福知溪谷の蛾類について (I)	遊磨 正秀	1
養父郡大屋町田淵山の蛾類について (I)	遊磨 正秀	3
兵庫県のナガツツハムシ	高橋 寿郎	6
家島群島の昆虫(2)	上田 尚志	9
兵庫県におけるヨコヅナサシガメの分布	高橋 寿郎	18
兵庫県におけるエビイロカメムシ・ ノコギリカメムシの分布	高橋 寿郎	20
県下2種のコメツキムシの分布	高橋 寿郎	22
県下2種のタマムシの分布	高橋 寿郎	23
宝塚大橋の照明燈で採集した蛾(その1)	新家 勝	24
三木市産のカミキリ追加記録	小倉 滋	26
タケウチヒゲナガコバネ赤西に産す	小倉 滋	27
アオナガタマムシ赤西の記録	遠山 雅夫	28
フタスジカタビロハナカミキリ扇ノ山麓で採集	内藤 親彦	28
赤西溪谷でのシコクヒメコブハナカミキリ採集例	黒田 収	29
宝塚市清荒神周辺でのラミーカミキリと キョウトアオハナムグリの採集記録	加藤信一郎	29
ウスイロコノマ採集の思い出	五十嵐英二	30
オオコクヌスト送電線鉄塔脚部に集る	高橋 寿郎	31
兵庫県甲虫相資料・91	高橋 寿郎	32
県関係文献紹介		34
新入会員・住所変更		36
昭和55年度収支報告書		37

兵庫昆虫同好会

1981年5月

宍粟郡一宮町福知溪谷
の蛾類について(I)

遊 磨 正 秀

福知溪谷は段ヶ峰の西南西に位置し、標高600m程の谷である。上部は杉の植林のため、樹相は貧弱であるが、谷の下部は伐採は行なわれてはいるが、まだかなりの低山帯の樹木を残している。筆者は1975年6月16日に当地にて燈火採集を行ない、若干の蛾類を得たのでその一部をここに報告しておく。

Nolidae コブガ科

1. *Nola lactaria* Graeser コバマシロコブガ 1♂
2. *Celama confusalis* Herrich-Schäffer ヒメコブガ 1♂
3. *C. ebatoï* Inoue ウスカバズコブガ 3♂

Arctiidae ヒトリガ科

4. *Parasiccia altaica* Lederer ホシオビコケガ 1♂
5. *Miltochrista striata striata* Bremer et Grey スジベニコケガ 目撃
6. *Spilarctia inaequalis* Butler カクモンヒトリ 1♀

Agaristidae トラガ科

7. *Chelonomorpha japona* Motschulsky トラガ 目撃(但し昼間)

Noctuidae ヤガ科

8. *Apamea hampsoni* Sugi ネスジシラクモヨトウ 3♂
9. *Lithacodia fentoni* Butler シロモンコヤガ 1♂
10. *Eustrotia japonica* Warren マエモンコヤガ 1♂
11. *Micardia argentata* Butler シロヒシモンコヤガ 1♂
12. *M. pulchra* Butler フタホシコヤガ 1♂
13. *Mocis annetta* Butler ウンモンクチバ 1♂
14. *Pangrapta trimantesalis* Warren ウンモンツマキリアツバ 1♂
15. *Scedopla regalis* Butler キヅマアツバ 1♂
16. *Hypena falcipennis* Inoue チビトガリアツバ 1♂
17. *Zanclognatha helva* Butler キイロアツバ 1♂
18. *Z. tarsicrinalis* Knoch トビスジアツバ 1♂

19.	<i>Capnistis albinotata</i> Butler	シロモンアツバ	目撃
	Notodontidae シヤチホコガ科		
20.	<i>Fentonia ocypete</i> Bremer	ホソバシヤチホコ	目撃
21.	<i>Allodonta sikkima leucodera</i> Staudinger	ツマジロシヤチホコ	3 ♂
22.	<i>Suzukia cinerea cinerea</i> Butler	スズキシヤチホコ	3 ♂
23.	<i>Drymonia japonica</i> Wileman	コトビモンシヤチホコ	4 ♂
24.	<i>Epizaranga permagna</i> Butler	アオバシヤチホコ	1 ♂
25.	<i>Peridea gigantea</i> Butler	ナカキシヤチホコ	6 ♂
26.	<i>P. monetaria</i> Oberthür	マルモンシヤチホコ	1 ♂
27.	<i>Cnethodonta baibarana</i> Matsumura	バイバラシロシヤチホコ	1 ♂
28.	<i>C. grisescens</i> Staudinger	シロシヤチホコ	2 ♂
29.	<i>Quadricalcarifera cyanea</i> Leech	アオシヤチホコ	2 ♂
30.	<i>Q. viridipicta himiko</i> Nakamura		
		オオアオシヤチホコ	6 ♂ 1 ♀
31.	<i>Torigea straminea</i> Moore	キシヤチホコ	1 ♂
32.	<i>Fusapteryx ladislai</i> Oberthür	シロスジエグリシヤチホコ	2 ♂
33.	<i>Pterostoma sinicum</i> Moore	オオエグリシヤチホコ	1 ♂
34.	<i>Neodrymonia delia</i> Leech	フタジマネグロシヤチホコ	1 ♂
35.	<i>Microphalera grisea</i> Butler	ハイイロシヤチホコ	1 ♂
	Lymantriidae ドクガ科		
36.	<i>Dasychira pudibunda pseudabietis</i> Butler	リンゴドクガ	1 ♂
37.	<i>Euproctis piperita</i> Oberthür	キドクガ	1 ♂
	Lasiocampidae カレハガ科		
38.	<i>Philudoria albomaculata</i> Bremer	タケカレハ	1 ♂
	Thyatiridae トガリバガ科		
39.	<i>Thyatira batis</i> Linné	モントガリバ	1 ♂
40.	<i>Habrosyne fraterna japonica</i> Werny	オオアヤトガリバ	1 ♀
41.	<i>Tethea ampliata</i> Butler	オオバトガリバ	3 ♂
	Drepanidae カギバガ科		
42.	<i>Agnidra scabiosa fixsemi</i> Bryk	マエキカギバ	1 ♂
43.	<i>Microblepsis manleyi manleyi</i> Leech	マンレイカギバ	1 ♂

養父郡大屋町田湧山の
蛾類について(I)

遊 磨 正 秀

田湧山は須留ヶ峰の西北に位置し、決して高い山ではないが良好な樹林が残されている。同山には町営林道が約600m付近まで通されている。筆者は奥谷禎一氏の計らいにより、1975年8月5日に林道の終点付近にて燈火採集を行なう機会を得、相当数の蛾類を得たのでその一部をここに報告しておく。

Sphingidae スズメガ科

1. *Clanis bilineata tsingtauica* Mell トビイロスズメ 目撃

Nolidae コブガ科

2. *Roeselia fumosa* Butler クロスジコブガ 2 ♂ 1 ♀
3. *R. gigantoides* Inoue オオマエモンコブガ 1 ♂
4. *Celama okanoi* Inoue ソトグロコブガ 1 ♂

Arctiidae ヒトリガ科

5. *Chinonaema hamata hamata* Walker アカスジシロコケガ 目撃
6. *Spilosoma nivea Ménétriers* シロヒトリ 目撃
7. *Spilarctia subcarnea* Walker オビヒトリ 目撃

Agaristidae トラガ科

8. *Seudyra venusta* Leech ベニモントラガ 1 ♂

Noctuidae ヤガ科

9. *Colocasia mus* Oberthür ネグロケンモン 目撃
10. *Acronicta catocaloida* Graeser キシタケンモン 1 ♂
11. *A. major* Bremer オオケンモン 1 ♂
12. *A. niveosparsa* Matsumura シロフクロケンモン 2 ♂
13. *Stenoloba clara* Leech ウスアオキノコヨトウ 1 ♂

14.	<i>Stenoloba manleyi</i> Leech	ウンモンキノコヨトウ	1 ♂
15.	<i>Sineugraphe exusta</i> Butler	カバスジヤガ	目撃
16.	<i>Amathes efflorescens</i> Butler	キシタミドリヤガ	目撃
17.	<i>Mamestra persicariae japonibia</i> Bryk	シラホシヨトウ	目撃
18.	<i>Triphaenopsis lucilla</i> Butler	シロホシキシタヨトウ	2 ♀
19.	<i>Euplexia lucipara exotica</i> Strand	アカガネヨトウ	目撃
20.	<i>Amphipyra erebina</i> Butler	オオウスツマカラスヨトウ	目撃
21.	<i>Hadjina biguttula</i> Motschulsky	フタテンヒメヨトウ	目撃
22.	<i>Sphragifera biplaga hexagona</i> Bryk	コマルモンシロガ	1 ♂
23.	<i>Lamprothripa hampsoni</i> Wileman	ネジロキノカワガ	1 ♂
24.	<i>Westermannia nobilis</i> Staudinger	マエキリンガ	目撃
25.	<i>Bena fagana</i> Fabricius	アオスジアオリンガ	4 ♂ 1 ♀
26.	<i>Ariolica argentea</i> Butler	ギンボシリンガ	目撃
27.	<i>Eustrotia noloides</i> Butler	エゾコヤガ	1 ♂ 1 ♀
28.	<i>Hyperstrotia flavipuncta</i> Leech	モンキコヤガ	目撃
29.	<i>Perynea subrosea</i> Butler	ウスベニコヤガ	1 ♀
30.	<i>Abrostola trigemina</i> Werneburg	イラクサマダラウワバ	1 ♂
31.	<i>Catocala dissimilis</i> Bremer	エゾシロシタバ	1 ♂
32.	<i>Metopta rectifasciata</i> Ménétriès	シロスジトモエ	目撃
33.	<i>Erebus crepuscularis</i> Linné	オオトモエ	目撃
34.	<i>Blasticorhinus ussuriensis</i> Bremer	コウンモンクチバ	目撃
35.	<i>Ercheia umbrosa</i> Butler	モンキムラサキクチバ	目撃
36.	<i>Plusiodonta coelonota</i> Kollar	マダラエグリバ	1 ♂
37.	<i>Anomis mesogona</i> Walker	アカキリバ	1 ♂
38.	<i>Pangrapta vasava</i> Butler	ミツボシツマキリアツバ	1 ♀
39.	<i>Stenograptia stenoptera</i> Sugi	ホソツマキリアツバ	1 ♂
40.	<i>Dierna timandra</i> Alphéraky	ベニトガリアツバ	2 ♂
41.	<i>Lophomilia polybapta</i> Butler	キマダラツマキリアツバ	1 ♀
42.	<i>Colobochyla salicalis cinerea</i> Butler	キンスジアツバ	1 ♀
43.	<i>Rivula confusa</i> Wileman	スジモンアツバ	1 ♂
44.	<i>Bomolocha squalida</i> Butler	ウスツマアツバ	1 ♂

45.	<i>Dichromia amica</i> Butler	クロキシタアツバ	1 ♂
46.	<i>Bertula jutalis</i> Walker	ハナマガリアツバ	目撃
47.	<i>Badiza notigera</i> Butler	シラナマイクロアツバ	目撃
48.	<i>B. simplex</i> Butler	フジロアツバ	1 ♀
49.	<i>Cidariplura brevivittalis</i> Moore	キスジハナオイアツバ	1 ♂
50.	<i>Trisateles emortualis</i> Schiffermüller	シロオビアツバ	目撃
51.	<i>Capnistis albinotata</i> Butler	シロモンアツバ	目撃

Notodontidae シャチホコガ科

52.	<i>Fentonia ocypete</i> Bremer	ホソバシャチホコ	目撃
53.	<i>Semidonta biloba</i> Oberthür	カエデシャチホコ	目撃
54.	<i>Allodonta sikkima leucodera</i> Staudinger	ツマジロシャチホコ	目撃
55.	<i>Suzukia cinerea cinerea</i> Butler	スズキシャチホコ	3 ♂
56.	<i>Drymonia japonica</i> Wileman	コトビモンシャチホコ	1 ♂
57.	<i>Mimodonta albicosta</i> Matsumura	マエジロシャチホコ	1 ♂
58.	<i>Peridea moltrechti</i> Oberthür	マルモンシャチホコ	2 ♀
59.	<i>P. monetaria</i> Oberthür	ルリモンシャチホコ	1 ♂
60.	<i>Shaka atrovittatus</i> Bremer	クビワシャチホコ	目撃
61.	<i>Cnethodonta grisescens</i> Staudinger	シロシャチホコ	2 ♂
62.	<i>Quadricalcarifera vividipicta</i> himiko Nakamura	オオアオシャチホコ	4 ♂
63.	<i>Spatalia jezoensis</i> Wileman et South	エゾギンモンシャチホコ	1 ♂
64.	<i>S. dives dives</i> Oberthür	ギンモンシャチホコ	1 ♂
65.	<i>Ptilodon okanoi</i> Inoue	クロエグリシャチホコ	1 ♂
66.	<i>Lophontosia pryeri</i> Butler	プライヤエグリシャチホコ	2 ♂
67.	<i>Pterostoma sinicum</i> Moore	オオエグリシャチホコ	目撃

Lymantriidae ドクガ科

68.	<i>Arctornis kumatai</i> Inoue	スカシドクガ	1 ♂
69.	<i>Numenes disparilis albofascia</i> Leech	シロオビドクガ	1 ♂
70.	<i>Lymantria monacha</i> Linné	ノンネマイマイ	目撃
71.	<i>Topomesoides jonasii</i> Butler	ニワトコドクガ	目撃

Lasiocampidae カレハガ科

72.	<i>Odonestis pruni rufescens</i> Kardakoff	リングカレハ	目撃
-----	--	--------	----

73. <i>Somadasys brevivenis</i> Butler	ギンモンカレハ	目撃
Bombycidae カイコガ科		
74. <i>Bombyx mori mandarina</i> Moore	クワゴ	目撃
75. <i>Oberthürria falcigera</i> Butler	オオクワゴモドキ	1♂
Thyatiridae トガリバガ科		
76. <i>Lithocharis maxima</i> Leech	ナガトガリバ	1♀
Drepanidae カギバガ科		
77. <i>Callicilix abraxata abraxata</i> Butler	マダラカギバ	1♂
78. <i>Macrocilix mysticata watsoni</i> Inoue	ウスギヌカギバ	目撃
79. <i>Derocha inconclusa phasma</i> Butler	ホシベッコウカギバ	1♀
80. <i>Nordstroemia japonica</i> Moore	ヤマトカギバ	1♀
81. <i>Agnidra scabiosa fixsemi</i> Bryk	マエキカギバ	目撃
82. <i>Tridrepana crocea</i> Leech	ウコンカギバ	目撃
83. <i>Oreta pulchripes</i> Butler	アシベニカギバ	1♂

兵庫県の新ガツツハムシ (兵庫県甲虫相資料. 81)

高橋 寿郎

筆者は兵庫県のハムシ類をまとめて発表した際当然この新ガツツハムシ類の報告をしたのであるが(1968)その後の調査で分布の追加があるものと新たに当県に分布していることがわかった種などもあるので現時点でこの類の兵庫県における分布状況をまとめておき度いと思う。

Subfamily Clytrinae ナガツツハムシ亜科

この亜科の日本産は3属、9種であるが兵庫県には3属6種を分布している。

1. *Clytra laeviuscula* (Ratzeburg) ヨツボシナガツツハムシ

日本からはBalyによりカシワ上で見つけた1頭のHiogo産でもつて初めて紹介された(1873)。兵庫県下では概して個体数の少い種のようなのである。岩田久二雄博士は唐櫃のハギの葉上で本種の♂♀を採集され(1976年7月15日)(博士にとっても3回目の出会であつたと)、卵の図説をされている(1978)。

食草はハギ類、カンバ類、ヤナギ類として知られているがわが国での詳しい生活史はまだないようである。フアブルの昆虫記にはこの属のヨーロッパでの観察が述べられている(岩波文庫、昆虫記第14分冊)し幼虫はアリの巢内で寄生生活することが知られていると(竹中, 1975)。

産地のデータから成虫は7月に活動しているようである。

六甲山での採集は紅葉谷の途中であり石田氏のものもその地点である。小林氏の手許に保管されている六甲山産数匹の本種は採集場所をお聞きしなかったが岩田博士の唐櫃産と合せ考えて六甲の北側斜面には割合いるのかもしれない。

産地: 川辺郡猪名川町杉生新田〔仲田, 1979〕^X。Hiogo〔Baly, 1873, Heyden, 1879〕。神戸市御影〔関, 1933〕, 六甲山〔Some exs., 小林桂助氏採集, 高橋確認〕(1 ex., 3-VII-1950, 2 exs., 15-VII-1956, H. Ishida leg.), 唐櫃〔岩田, 1978〕。氷上郡粟鹿峰〔山本, 1953, 1958〕。豊岡市大磯〔高橋, 1975〕。養父郡氷の山〔高橋, 1975〕。美方郡扇の山〔辻, 1963, 辻・岸田, 1972〕。

2. *Coptocephala orientalis* Baly ズグロヨツボシナガツツハムシ

本種はHiogo産標本により命名記載された種であるが詳しいデータは無い。何頭かは採集されていると思われる(記載に♂♀の違いを記してある)。その後次のように僅かの記録しかなく県下では大変珍しい種である。京都府あたりには割合いるようであるが出現期が8~9月のようであるので(京都の場合5~7月)さらに詳しく調べる必要がある。食草としてはカワラヨモギが知られている(中条, 木元, 1961)。生活史はわかっていない。

産地: Hiogo〔Baly, 1873〕。西宮市武庫川〔5 exs., 7-VIII-1957, Y. Wada leg., 木元, 1964〕。神戸市烏原(1 ex., 1-IX-1942)。

3. *Smaragdina aurita* (Linnaeus) キボシナガツツハムシ

カンバ, ヤナギ, エゴノキなどの葉を食べる。成虫は6月に現われる。卵は糞でつまされ、幼虫は糞ケースに入つて成長し越冬する。結構多くいる。

産地: 川辺郡猪名川町上阿古谷〔仲田, 1978〕。神戸市二十渉(1 ex., 26-VI-1955), 烏原(1 ex., 18-VI-1939, 1 ex., 13-V-1971, 1 ex., 11-VI-1967), 山の街(1 ex., 26-VI-1941, 1 ex., 7-VI-1959)。氷上郡柏原〔山本, 1953, 1958〕。多可郡加美町三谷(1 ex., 9-VI-1975)。相生市三濃山(1 ex., 1-VI-1974)。養父郡氷の山(7 exs., 27-VII-1956, 1 ex., 21-VII-1958, 4 exs., 24-VII-1959)。美方郡扇ノ山〔辻, 岸田, 1972, 高橋, 1975〕。

^X〔 〕の中のものは文献からの引用, ()の中のものは筆者採集並びに所有標本。

4. *Smaragdina garretai* (Achard) キムネナガツツハムシ

体は黒色で青藍色を帯び光沢があり前胸背板・触角・口部・肢は明黄褐色の美しい種である。前種と同じで雌の第5腹板の中央にくぼみがある。神戸市の道場でも多く採集出来ているし、多可郡の鳥羽でヤナギに物凄く集っているのにも遭遇したことがある。カンバ、ヤナギ、スイバ類を食べる。県下に広く分布していると思われる。

産地：洲本市先山〔大野，1969〕。川西市笹部〔仲田，1978〕。神戸市道場（8exs.，5-V-1958）。Harima〔Fleischer，1916〕。多可郡加美町三谷（5exs.，24-V-1975），鳥羽（30exs.，8-V-1976）。神崎郡大河内町川上（1ex.，7-V-1977）。佐用郡大撫山（2exs.，2-V-1978）。宍粟郡波賀町原（1ex.，11-V-1979），音水（7exs.，13-V-1973）。氷上郡神楽村〔山本，1953，1958〕。城崎郡三川山〔高橋，1976〕，養父郡氷の山（1ex.，5-V-1958）。

5. *Smaragdina nigrifrons* (Hope) クロオビツツハムシ

体は黒色，前胸背，小楯板，上翅は橙黄色，前胸上翅基部，中央後部に黒色紋がある。全般に光沢がありなかなか目立った美しいハムシである。生態はよく知られていないがナツフジを食べることが知られている。♂は肢がやゝ太い。

従来兵庫県下での記録の無かった種であるが筆者は1974年7月20日相生市三濃山の登山口でカヤの葉上にとまっていた7♂♀を採集したのが県下での初めての記録である。その後注意して調べているが見つかっていない。1980年8月1日飾磨郡夢前町我孫子の谷でやはりカヤの葉上で1♀が採集出来た。今の所これだけしか県下から知られていないが最盛期が猛暑の候のようであるので調査すればもっと県下に広く分布していると考えられる。

産地：飾磨郡夢前町我孫子（1♀，1-VIII-1980）。相生市三濃山（4♂，3♀，20-VII-1974）。

6. *Smaragdina nipponensis* (Chūjō) キイロナガツツハムシ

黄赤褐色光沢がある。神戸市内では戦前から採集されていた。県下での分布はそれ程知られていないがウリハムシと混同して採集されていないのかもしれない。とに角神戸市内では極めて普通に産する（5月が一番多い）。詳しい生態はわかっていないがカワヤナギ，クヌギが食草と言われている。神戸あたりではコナラ等からも得られる。最近浜坂町でも記録が出ているので県下に広く分布している種と考えてよいと思う。

産地：洲本市先山〔大野，1969〕。三原郡成相峠〔大野，1969〕。川辺郡猪名川町民田〔仲田，1970〕，上阿古谷，木間生〔仲田，1978〕。川西市笹部〔仲田，1970，1978〕。神戸市六甲山（1ex.，5-VI-1943），摩耶山〔中条，1951〕，保久良山（1ex.，1-

V-1975, 4 exs, 12-V-1978), 布引(1 ex., 17-V-1959), 二十渉(1 ex., 26-VI-1955), 烏原(2 exs., 16-V-1971, 8 exs., 23-V-1971, 7 exs., 30-V-1971, 1 ex., 5-V-1973, 2 exs., 19-V-1974, 1 ex., 26-V-1974, 1 ex., 9-VI-1974, 1 ex., 18-V-1975, 1 ex., 25-V-1975, 1 ex., 22-V-1977, 3 exs., 29-V-1977, 2 exs., 21-V-1978, 1 ex., 18-V-1979, 1 ex., 24-V-1979, 1 ex., 25-V-1979, 1 ex., 26-V-1979, 1 ex., 14-V-1980, 2 exs., 19-V-1980, 2 exs., 29-V-1980, 2 exs., 5-VI-1980, 1 ex., 6-VI-1980), 山の街(2 exs., 19-V-1959, 1 ex., 7-VI-1939), 丹生山(3 exs., 5-V-1956). 多可郡白山(2 exs., 3-V-1973), 三谷(1 ex., 8-VI-1975). 豊岡市妙楽寺[高橋, 1975] 美方郡浜坂[磯野, 1980].

(8-XII-1980)

家島群島の昆虫(2)

上田尚志

鱗翅目(蝶) : 追加

新たに2種を記録できた。これで家島群島で確認された蝶は9科37種となった。また、前報でもふれたアサギマダラは、その後も何度か目撃し、うち一頭を採集した。これは、単に台風等の影響というだけでなく、本種の移動性を持った生態と関係しているかも知れない。

Satyridae ジャノメチョウ科

5. *Melanitis phedima* Cramer クロコノマチョウ

31-X-1980 本島

家島本島の天神鼻にある自然林の中で、シイの実を拾っていて偶然に採集できたものである。足元から急に飛び立ち、上下に揺れるようにしばらく飛んだのち、枯れ葉の上に静止したところを素手でつかまえた。近くにススキもあるが、島内で発生しているかどうかは、わからない。

Hesperiidae セセリチョウ科

4. *Pelopidas mathias oberthueri* Evans チャパネセセリ

16-X-1980 坊勢島(桂造)

この種が今まで記録できなかったのは、イチモンジセセリに混じっており、またイチモンジセセリの個体数があまりに多いため、見すごしていたことによるだろう。

鞘翅目 (甲虫)

現在までに、26科113種を確認した。今のところ、夜間に飛来した種や、目についた種を採集する程度で、決して十分ではない。また手元にある種で同定できていない種もかなりあるので次の機会に引き続き報告したい。

ここに記録した種はすべて家島本島で採集したものである。また、学名は原色昆虫大図鑑第Ⅱ巻(北隆館1978)によった。

Cicindelidae ハンミョウ科

1. *Cicindela japana* Motschulsky ニワハンミョウ
7-VI-1978, 2-V-1979 (大沢 剛)
2. *C. specularis* Chaudoir コハンミョウ
14-VII-1977, 2-VIII-1979
3. *C. elisae* Motschulsky ヒメハンミョウ
14-VII-1977

Harpalidae ゴミムシ科

1. *Bembidion morawitzi* Csiki ヨツボシミズギワゴミムシ
4-VI-1977
2. *Curtonotus nitens* Putzeys ナガマルガタゴミムシ
5-VI-1980 (丸川隆志)
3. *Lebidia octoguttata* Morawitz ヤホシゴミムシ
11-V-1978
4. *Haplochlaenius costiger* Chaudoir スジアオゴミムシ
5-VI-1980 (丸川隆志)

Brackinidae ホソクビゴミムシ科

1. *Pheropsophus jessoensis* Morawitz ミイデラゴミムシ
6-VII-1978, 6-V-1980 (大沢 剛)
2. *Brachinus scotomedes* Bates オオホソクビゴミムシ
28-VI-1980 (丸川隆志)

Dytiscidae ゲンゴロウ科

1. *Eretes sticticus* Linné ハイイロゲンゴロウ
19-IV-1980 (丸川隆志)

Silphidae シデムシ科

1. *Eusilpha japonica* Motschulsky オオヒラタシデムシ
4-VI-1977
2. *Thanatophilus auripilosus* Portevin ヒメヒラタシデムシ
6-VII-1978

Staphylinidae ハネカクシ科

1. *Creophilus maxillosus* Linné オオハネカクシ
24-I-1981

Lucanidae クワガタムシ科

1. *Macrodorcas rectus* Motschulsky コクワガタ
20-VI-1977
2. *Serrogathus platymelus* Saunders ヒラタクワガタ
4-VI-1977, 18-VI-1979

Scarabaeidae コガネムシ科

1. *Onthophagus atripennis* Waterhouse コブマルエンマコガネ
3-VII-1980 (丸川隆志)
2. *Maladera castanea* Arrow アカビロウドコガネ
9-VII-1980
3. *M. secreta* Brenske マルガタビロウドコガネ
26-VI-1977
4. *Nipponoserica pubivetrus* Nomura ハラゲビロウドコガネ
20-V-1977, 22-VI-1977
5. *Miridiba castanea* Waterhouse クリイロコガネ
27-V-1977, 17-V-1979
6. *Lachnosterna picea* Waterhouse クロコガネ
16-V-1977
7. *Allomyrina dichotoma* Linné カブトムシ
24-VII-1979 (大沢 剛)

8. *Popillia japonica* Newmann マメコガネ
4-VI-1977, 7-VI-1978, 21-VI-1978
 9. *Anomala testaceipes* Motschulsky スジコガネ
28-VI-1977, 6-VII-1978
 10. *A. cuprea* Hope ドウガネブイブイ
5-VII-1977, 4-VII-1980
 11. *Blitopertha orientalis* Waterhouse セマダラコガネ
14-VII-1977, 7-VI-1978
 12. *Phyllopertha irregularis* Waterhouse キスジコガネ
26-V-1978
 13. *Heptophylla picea* Motschulsky ナガチャコガネ
10-VI-1978, 5-VI-1980 (丸川隆志)
 14. *Adoretus tenuimaculatus* Waterhouse コイチャコガネ
9-VI-1977, 13-VI-1977
 15. *Nipponovalgus angusticollis* Waterhouse ヒラタハナムグリ
27-V-1977
 16. *Rhomborrhina japonica* Hope カナブン
4-VII-1980
 17. *Protaetia orientalis* Gory et Percheron シロテンハナムグリ
19-VI-1977, 28-V-1978 (上田 正), 29-V-1980 (島 英弘)
 18. *Cetonia pilifera* Motschulsky ハナムグリ
20-V-1977, 9-V-1979 (新井美登司)
 19. *Oxycetonia jucunda* Faldermann コアオハナムグリ
26-V-1979, 24-VII-1979 (大沢 剛)
- Ptilodactylidae* ナガハナノミ科
1. *Paralichas pectinatus* Kiesenwetter ヒゲナガハナノミ
24-V-1980
- Buprestidae* タマムシ科
1. *Chalcophora japonica* Gory ウバタマムシ
20-VII-1979 (梅崎完治), 3-VIII-1979
 2. *Buprestis haemorrhoidalis* Herbst クロタマムシ

4-VIII-1977, 27-VI-1980

3. *Anthaxia proteus* E. Saunders ヒメヒラタタマムシ

19-VI-1977, 8-VII-1977, 25-V-1979

4. *Trachys auricollis* E. Saunders クズノチビタマムシ

27-V-1977, 4-VI-1977

5. *T. variolaris* E. Saunders ダンダラチビタマムシ

3-V-1977, 25-V-1979

6. *Habroloma lewisii* E. Saunders ルイスチビタマムシ

5-V-1980, 5-VI-1980

Elateridae コメツキムシ科

1. *Paracalais berus* Candéze ウバタマコメツキ

20-V-1977, 3-VI-1978

2. *Pectocera fortunei* Candéze

19-VI-1977, 6-VI-1980(上谷良一)

Lampyridae ホタル科

1. *Hotaria parvula* Kiesenwetter ヒメボタル

20-V-1977, VI-1980

Trogoxetidae コクヌスト科

1. *Temnochila japonica* Reitter オオコクヌスト

10-VI-1979, 24-V-1980

Melyridae ジョウカイモドキ科

1. *Malachius prolongatus* Motschulsky ツマキアオジョウカイモドキ

8-VI-1977

Nitidulidae ケシキシムシ科

1. *Librodor japonicus* Motschulsky ヨツボシケシキシムシ

11-VI-1977(山戸一康), 23-V-1978(原 国義)

Coccinellidae テントウムシ科

1. *Rodolia limbata* Motschulsky ベニヘリテントウ

VI-1980(松浦謙二)

2. *R. cardinalis* Mulsant ベダリヤテントウ

26-VI-1977

3. *Chilocorus kuwanae* Silvestri ヒメアカボシテントウ
26-VI-1977, 8-IV-1980 (大沢 剛), 29-VI-1980
4. *Menochilus sexmaculatus* Fabricius ダンダラテントウ
X-1978, 10-VI-1979 (大沢 剛)
5. *Harmonia axyridis* Pallas テントウムシ
4-VI-1977, 26-V-1979, 6-V-1980 (大沢 剛)
6. *Coccinella septempunctata* Linné ナナホシテントウ
3-V-1977, 23-V-1978 (原 国義), 1-V-1979 (大沢 剛)
7. *Propylea quatuordecimpunctata* Linné ヒメカメノコテントウ
20-V-1977, 3-V-1980 (丸川隆志), 29-VI-1980
8. *Illeis koebelei* Timberlake キイロテントウ
10-VI-1979, 14-VI-1980 (島 英弘)

Tenebrionidae ゴミムシダマシ科

1. *Gonocephalum coriaceum* Motschulsky コスナゴミムシダマシ
28-VI-1980 (丸川隆志)
2. *Setenis valgipes* Marseul ユミアシオオゴミムシダマシ
X-1980
3. *Ceropria induta* Wiedemann ナガニジゴミムシダマシ
27-V-1977

Lagriidae ハムシダマシ科

1. *Luprops cribrifrons* Marseul アラメヒゲプトゴミムシダマシ
5-I-1979
2. *Lagria vervex* Marseul ハムシダマシ
15-VI-1980, 3-VII-1980 (島 英弘)

Alleculidae クチキムシ科

1. *Allecula fuliginosa* Mäklin オオクチキムシ
27-IV-1979

Oedemeridae カミキリモドキ科

1. *Nacerdes melanura* Linné ツマグロカミキリモドキ
8-VI-1977

Cerambycidae カミキリムシ科

1. *Prionus insularis* Motschulsky ノコギリカミキリ
28-VI-1977, 9-VII-1980
2. *Spondylis buprestoides* Linné クロカミキリ
6-VII-1978, VII-1980
3. *Cephalallus unicolor* Gahan ムナクボカミキリ
17-VI-1979
4. *Xystrocera globosa* Olivier アオスジカミキリ
26-VII-1977, 9-VII-1980, 18-VII-1980, VI-1980
5. *Ceresium holophaeum* Bates ヨコヤマヒメカミキリ
5-VII-1977
6. *Leontium viride* Thomson ミドリカミキリ
10-VI-1978(桂 造), 26-V-1979, 8-VI-1980(丸川隆志)
7. *Palaeocallidium rufipenne* Motschulsky ヒメスギカミキリ
24-V-1980(新井美登司)
8. *Chlorophorus japonica* Chevrolat エグリトラカミキリ
20-V-1977, 28-V-1978, 26-V-1980(石川 勝)
9. *C. quinquefasciata* Castelnau et Gory ヨツスジトラカミキリ
27-VIII-1978, 27-VII-1980, VII-1980(丸川隆志)
10. *Psacotha hilaris* Pascoe キボシカミキリ
14-VI-1980, 3-VII-1980(島 英弘), 8-VII-1980(丸川隆志)
11. *Anoplophora malasiaca* Thomson ゴマダラカミキリ
17-VI-1977, 21-VI-1978(原 国義)
12. *Acalolepta fraudatrix* Bates ビロウドカミキリ
28-VI-1977
13. *Uraecha bimaculata* Thomson ヤハズカミキリ
10-VI-1978
14. *Batocera lineolata* Chevrolat シロスジカミキリ
10-VI-1977, 18-VII-1979(大沢 剛)
15. *Apriona japonica* Thomson クワカミキリ
14-VII-1977, VII-1979
16. *Pterolophia annulata* Chevrolat ワモンサビカミキリ

10-VI-1978

17. *Monochamus alternatus* Hope マツノマダラカミキリ
1-VI-1979(稲村安彦), 10-VI-1978, 10-VI-1979(上村昌史)
18. *Exocentrus lineatus* Bates アトモンマルケシカミキリ
11-VI-1977
19. *Phytoecia rufiventris* Gautier des Cottés キクスイカミキリ
27-V-1977, VI-1980

Bruchidae マメゾウムシ科

1. *Bruchus pisorum* Linne' エンドウゾウムシ
IV-1978, 30-IV-1979

Chrysomllidae ハムシ科

1. *Lema concinnipennis* Baly キバラルリクビボソハムシ
29-V-1977
2. *L. honorata* Baly ヤマイモハムシ
20-V-1977
3. *L. diversa* Baly アカクビボソハムシ
4-VI-1977, 14-VI-1980(丸川隆志)
4. *Smaragdina aurita* Linne' キボシルリハムシ
10-VI-1978, 25-V-1979
5. *Cryptocephalus signaticeps* Baly クロボシツツハムシ
28-V-1978, 1-V-1979
6. *C. perelegans* Baly キボシツツハムシ
8-VII-1977, 3-V-1980(丸川隆志), 5-VI-1980
7. *Basilepta fulvipes* Motschulsky アオバネサルハムシ
6-VII-1978, 3-V-1980(丸川隆志), 29-VI-1980
8. *Colasposoma dauricum* Monnerheim イモサルハムシ
7-VI-1978, 10-VI-1979(大沢 剛, 宮本健一)
9. *Acrothinium gaschkevitchii* Motschulsky アカガネサルハムシ
11-VI-1977(山戸一康), 11-V-1979, 14-VI-1980(島 英弘)
10. *Scelodonta lewisii* Baly ドウガネサルハムシ
4-VI-1977

11. *Plagiodera versicolora* Laicharting ヤナギルリハムシ
25-V-1979
12. *Chrysolina aurichalcea* Mannerheim ヨモギハムシ
4-VI-1977, 1-VI-1978
13. *Galerucella nipponensis* Laboissiere ジュンサイハムシ
15-VI-1980
14. *Aulacophora femoralis* Motschulsky ウリハムシ
20-V-1977, 26-V-1978
15. *A. nigripennis* Motschulsky クロウリハムシ
20-VI-1979(宮本健一), 15-VI-1980
16. *Fleutiauxia armata* Baly クワハムシ
22-V-1977
17. *Monolepta pallidula* Baly ウスイロウリハムシ
6-VII-1980
18. *Phyllotreta striolata* Fabricius キスジノミハムシ
28-V-1980(丸川隆志)
19. *Hispellinus moerens* Baly カヤノトゲトゲ
4-VI-1977
20. *Cassida piperata* Hope ヒメカメノコハムシ
4-VI-1977

Attelabidae オトシブミ科

1. *Aspidobyctiscus lacunipennis* Jekel ブドウハマキチョッキリ
20-V-1977, 26-V-1979
2. *Mechoris ursulus* Roelofs ハイイロチョッキリ
17-IX-1979
3. *Euops splendida* Voss カシルリオトシブミ
16-V-1977, 27-V-1977

Curculionidae ゾウムシ科

1. *Episomus turritus* Gyllenhal シロコブゾウムシ
27-V-1977, 1-V-1979
2. *Lixus acutipennis* Roelofs ハスジカツオゾウムシ

16-V-1977

3. *Ectatorrhinus adamsi* Pascoe マダラアシゾウムシ

VI-1980

4. *Mesalcidodes trifidus* Pascoe オジロアシナガゾウムシ

27-V-1977

5. *Anthonomus bisignifer* Schenkling イチゴハナゾウムシ

V-1980

6. *Curculio pictus* Roelofs ジュウジチビシギゾウムシ

25-V-1979

Rhynchophoridae オサゾウムシ科

1. *Cryptoderma fortunei* Waterhouse オオシロオビゾウムシ

14-VI-1980

2. *Hyposipalus gigas* Fabricius オオゾウムシ

13-V-1977, 28-V-1978, 25-V-1979 (大沢 剛)

兵庫県におけるヨコヅナサシガメの分布

高橋 寿郎

ヨコヅナサシガメの兵庫県からの最初の記録は田中篤夫、殿界和男氏が神戸市道場から記録されたものが一番古いものではないかと考える(昆虫と自然, 3巻, 10号, P. 35, 1968)。併し実際に採集されたのは奥谷禎一博士による篠山農大校庭内で1960年春, さらに4月末頃の校庭のソメイヨシノ, ポプラ, ヤナギなどの大木の腐った穴に集団して越冬している多数の幼虫を見つけることができたというのが一番古いようであるし(奥谷, 1971), 日浦勇氏が川西市笹部のソメイヨシノの大木幹にて多数羽化中のものを採集(1964年4月23日)というのものもある(日浦, 1971)。それ以前から県下に分布していたのであろうと考えられるが良くわからない。筆者も古くからカメムシ類の採集調査を続けているが本種の県下での採集は比較的新しい。現在兵庫県下では広く分布しているのではないかと考えられるのであるが特に最近六甲山系では多く見受ける様になった印象が強い。

現在までの県下での産地を一応記録しておく(筆者採集標本所有のものはデータをつけた)。

川辺郡猪名川町槻並(10 exs., 第5令幼虫, 4-V-1979)。川西市笹部〔日浦, 1971,

1977, 仲田, 1978]. 宝塚市千苺 [桂, 1973], 大原野中部 [桂, 1973], 清荒神 (1 ♂, 22-V-1975), 宝塚市内 [奥谷, 1980]. 西宮市名塩 [井上, 1971], 木ノ元 [井上, 1971]. 神戸市再度山 (1 ♀, 10-VI-1979), 烏原 (1 ♂, 24-V-1979, 1 ♂, 1 ♀, 21-V-1980, 1 ♀, 23-V-1980, 1 ♂, 3-VI-1980, 2 ♀, 5-VI-1980, 1 ♀, 6-VI-1980, 4 ♀, 7-VI-1980, 2 ♀, 5-VI-1980, 1 ♀, 6-VI-1980, 4 ♀, 7-VI-1980, 1 ♂, 1 ♀, 11-VI-1980, 1 ♂, 2 ♀, 12-VI-1980, 3 ♀, 14-VI-1980, 3 ♀, 15-VI-1980, 1 ♀, 16-VII-1980, 1 ♀, 16-VI-1980, 1 ♂, 1 ♀, 25-VI-1980, 1 ♀, 27-VI-1980, 1 ex., 第4令幼虫, 23-IX-1980, 1 ex., 第5令幼虫, 6-XI-1980), 藍那 (1 ♂, 14-V-1978), 蓬山峡 (1 ♀, 21-V-1972), 下谷上 (1 ex., 7-XI-1979, 4 exs., 9-XI-1979, 第5令幼虫), 道場 [田中, 殿界, 1968]. 明石市明石公園 (1 ♀, 7-VII-1979). 神崎郡神崎町猪篠 [桂, 1973]. 多紀郡篠山, 農大校庭, 篠山城堀端, 王子山 [奥谷, 1971], 西紀町 [小林, 1979]. 豊岡市滝, 森 [桂, 1973], 九日市 [高橋, 1975]. 養父郡養父町 [小林, 1979], 大藪 [桂, 1973].

以上のように県の中央部から北部にかけても分布しているようだが日本海沿の地域と瀬戸内に面した地域で県の西部 (明石以西) の記録が無いこと、南方系の種にもかゝらず淡路島に記録の無いのも気にかゝる (四国には分布しているとなっている, 日浦, 1977). 中国地方にも今迄記録が出ていない様だったが1980年岡山県に産することが報ぜられている (岡山県和気郡佐伯町, 4-VI-1980, 臥牛, 22号, 山陽新聞, 55年6月27日号). 従って兵庫県西部地区にも分布しているであろうと考えられる。

神戸市内でも道場は別として他の地での産は比較的最近記録があらわれ始めた様に思われる。烏原においても40年近くの調査で得られていなかったが1979年に始めて採集, 1980年には多くいることに気がついた (尤もこの地点近い所なのだが寺の墓地の近くで今迄ほとんど調査したことの無い所だけに古くからこの付近にいたのかも知れない)。毎日池畔のアベマキの樹幹にいるのを見ることが出来, 中には鱗翅類の幼虫を捕食している所も見ている。割合敏感で網など近づけると逸早く飛ぶ。データを見て頂ければわかるが1980年5月21日に始めて見えてから6月末日迄ほとんど毎日見られた。従って可成りの個体が付近にいたと思われる。一般にはエノキ, サクラ, モミ, カキの樹などにいると言われている。筆者はサクラの樹からの採集は藍那で1度だけである。烏原ではアベマキ, コナラの樹にきているし, 川辺郡ではクヌギの樹にいた。比較的色々な樹にきているのではないだろうか。下谷上では松の樹にいた。

近畿地方には可成り広く分布しているようだし, 兵庫県下においても南方系種の1つとして興味深

く眺めている。尚本種の分布の東限は従来滋賀県彦根城と言われていたが(日浦, 1977), 最近では福井県(大土呂駅)で記録がある(佐々治, 1978)。また本種の生態に就いては長谷川仁氏(1949), 行徳直己氏(1951), 中尾舜一氏(1954)の報文がある。

尚本題から離れるがハリサシガメの神戸市内産に就いて本誌上に記録発表させて頂いたが(Vol. 6, 41・2, 1978), その後神戸市内で次の様に採集出来ている。北区下谷上(lex., 29-VIII-1979), 兵庫区烏原(lex., 26-VIII-1980, 1♂, 1♀, 28-IX-1980, 1♂, 10-X-1980, 1♂, 19-XI-1980)。これでおわりの様に本種は8月下旬から11月中旬近くまで野外で成虫が見られる(9月28日のものは交尾中であり, 11月19日のものは道端を歩いている)。この時期に調べたら案外多く見られる種なのかもしれない。

兵庫県におけるエビイロカメムシ・ ノコギリカメムシの分布

高橋 寿 郎

○ エビイロカメムシ *Gonopsis affinis* Uhler

黄褐色。生時はどちらかと言えば赤褐色をした中形の美しいカメムシで神戸市内ではススキの上に普通に得られるが県下での分布は必ずしも多く知られていない。新成虫は8月後半羽化するので一般的には8月末から9月に多く眼につくということで案外知られていないのかとも思うが雑草の根際等に成虫態で越冬し5, 6月頃でも注意すれば見ることが出来る。

本種の生態並びに卵・幼虫の各令期に就いては小林博士の貴重な報文がある(四国昆虫学会々報, 2巻, 1号, P. 7-16, 1951, 新昆虫, 7巻, 7号, P. 25-27, 1954)。宮本博士はヤニサシガメに刺されて産卵中絶した面白い記録を発表しておられる(昆虫, 30巻, 3号, P. 216, 1962)。

分類学的研究は石原保博士が詳しくされている(昆虫界, 9巻, 91号, P. 621-636, pl. 5, 6, 1941)。

藤本義昭氏が台湾で採集された本種1♂, 2♀(1♂, 30-IV-1979, 台中市北区大抗, 1♀, 30-III-1980, 屏東県Olanpi, 1♀, 1-VI-1980, 懇丁公園産)を送って頂いているが兵庫県産よりやや大きく赤紫色色がはっきりした美しい標本である。

現在わかっている兵庫県下の産地を次に記録しておく。

産地：洲本市先山〔友国，1973，堀田，1975〕。兵庫〔三橋，1915〕。神戸市烏原（2♂，1♀，10-VI-1980，1♂，1♀，14-VI-1980，1♀，27-VI-1980），藍那（1♀，9-VI-1968，1ex.，7-IX-1978，1♀，11-X-1978），谷上（1♀，6-V-1957），下谷上（2♂，1♀，29-VIII-1979，1♀，6-IX-1979），押部谷町木見（2♂，23-VI-1980）。相生市三濃山（1♂，2♀，8-VI-1974）。氷上郡〔山本，1954，1958〕。豊岡市上佐野〔高橋，1975〕。

○ ノコギリカメムシ *Megymenum gracilicorne* Dallas

大変特異な恰好の中型カメムシである。こちらも県下の産は余り報告されていない。神戸市内とか明石公園あたり割合見られるのでそれ程珍しい種だとは思われない。

井上氏は静岡県天竜川堤防のヒメジョオン・オオアレチノギク・ススキの葉上に大発生したと報告されている（1971年6月18日）（昆虫と自然，6巻，8号，1971）。

本種の生態に就いては古いが矢後氏の貴重な報告（関西昆虫学会々報，8号，P.6-7，pl. III，1939）並びに小林博士による卵，幼虫各令期の図説（四国昆虫学会々報，4巻，5/6号，P.79-82，1955）がある。

馬場博士は新潟県下でキカラスウリに集りそれを吸刺していることを報告されている（昆虫，6巻，5・6号，p.300，1932）と同時に生態に就いての報告もまとめておられる（昆虫，8巻，3号，p.197-199，1934）。食草としてはカラスウリ，カボチャ，キュウリなどがあげられ，矢後氏はドクダミで飼育されている。

筆者の手許に藤本義昭氏の採集された台湾南投県溪頭産の1♂（13-VII-1979）があるが兵庫県産との差はない。次に県下の産地を記しておく。

産地：兵庫〔三橋，1915〕。神戸市烏原（1♂，27-VII-1974，1♀，7-VIII-1977）。明石市明石公園（2♀，19-VI-1976，1♀，26-VI-1976，1♀，9-VI-1978，1♀，29-VI-1978）。宍粟郡音水（1♂，20-VII-1959，1♀，21-V-1972，1♀，25-VI-1972，1♂，16-VII-1972）。氷上郡〔山本，1954，1958〕。美方郡扇ノ山〔高橋，1975〕。

県下 2 種のコメツキムシの分布 (兵庫県甲虫相資料・82)

高橋 寿 郎

ウバタマコメツキとフタモンウバタマコメツキはコメツキムシ科の中では大形に属しなかなかユニークな種である。ウバタマコメツキの方は県下でも割合広く分布している様であるがフタモンウバタマコメツキの方は余り産地が知られていない。現在までの県下の産地を記録しておく(筆者採集標本所有のものについてのみデータをつけた)。

ウバタマコメツキ：洲本市先山〔堀田，1976〕。川西市見野，笹部〔仲田，1978〕。宝塚市武田尾(1 ♀，25-VII-1954，T. Kishii det.)。神戸市烏原(3 ♀，15-VI-1952，T. Kishii det. 岸井 尚氏同定の標本は同氏が保管) (1 ♂，5-V-1968，1 ♂，5-VI-1980，1 ♀，7-VI-1980，1 ♂，13-VI-1980，1 ♀，22-VI-1980，1 ♂，22-VII-1980，1 ♀，26-III-1980)，藍那(1 ♂，5-VI-1978)，妙法寺(1 ♀，20-II-1979)。氷上郡〔山本，1958〕。出石郡伊東町中藤〔高橋，1963〕。美方郡浜坂町〔高橋，1975〕。(黒佐博士は本種が成虫越冬するらしく3月に神戸で採集とありまた幼虫の図説もある，新昆虫，8巻，5号，1955)。

フタモンウバタマコメツキ：神戸市摩耶山麓〔黒佐，1955〕，保久良神社〔野村，1938〕，再度山(1 ♀，20-VI-1979)，烏原(1 ♀，24-V-1979，1 ♀，17-VI-1980，1 ♂，19-VIII-1980)。明石市明石公園〔野崎，1942〕。氷上郡春日町〔高橋，山本，1962〕，美方郡浜坂〔高橋，1975〕。

以上が2種の県下の産地である。ウバタマコメツキの方は県中央部から北部，更に西部の方にも分布していると考えられる。フタモンウバタマコメツキの方の記録の内保久良神社産は戦前野村全氏が保久良神社境内の桜の枯木から2月6日(1938)割ってとり出した成虫3頭幼虫2頭を記録されたものであり，摩耶山麓の黒佐博士のものはクロマツの切株から採集された1♀(20-IV-1938)である(前記筆者のウバタマコメツキの妙法寺での記録のものは松の枯木の中から割ってとり出したものである)。その他では余り産地が知られていない。烏原はその点両者を割合産するように思う。産地から見て県下に広く分布していそうな気がするが(特にフタモンウバタマコメツキは淡路島あたりにはいると思われるのだが —)。オオウバタマコメツキは残念ながら県下での産が確認されていない。

両種の幼虫に就いては清水(1952)，黒佐(1955，1959)，大平(1962)の図説がありウバタマコメツキは松樹根株の樹皮下にいるがフタモンウバタマコメツキの方は各種の潤葉樹の倒木

や根株の樹皮下にいとされている。

県下 2 種のタマムシの分布 (兵庫県甲虫相資料・85)

高橋 寿郎

ヤスマツケシタマムシは小さいが美しい種である。たゞ本種の兵庫県下からの記録は次の3地点しか知られていない。小形種なるが故に見落されていると考えられる他の産地の記録の発表を待ちたい。

氷上郡青垣町神楽 [1 ex., 10-V-1958, 待場嘉昭採集, 山本義丸, 高橋匡, 1962]。宍粟郡波賀町音水溪谷 [1 ex., 11-VI-1972, 筆者採集, 所有], 赤西溪谷 [2 exs., 29-IV-1977, 松田潔採集, 秋山黄洋, 1980]。

ルイスヒラタチビタマムシは戦前神谷一男氏によって関口俊雄画伯の見事な筆による原色で図説されて是非自分の手で採集したいものだと思っていた種である (日本の甲虫, Vol. 1, No. 1, P. 4, pl. 1, fig. 7, 1937)。

兵庫県下からの記録は奥谷禎一博士による養父郡関宮産が始めてである (新昆虫, Vol. 8, No. 5, 1955)。その後辻啓介氏は多紀郡篠山町篠山城天守閣跡の石垣のノバラの葉についていたのを採集発表され (1 ex., 10-V-1962, 兵庫生物, Vol. 6, No. 2, 1970), 遊磨正秀氏も養父郡氷の山で採集されている (中国山脈東端の昆虫相, 1974)。筆者は相生市三濃山で叩き網で採集した (1 ex., 20-V-1973)。以上が現在わかっている本種の県下での記録である。倉本康司氏は1977年氷上郡山南町和田地区で冬季ケヤキの樹皮をめくってゆくと本種が多数いることを御教示下さった。その様な方法で探して見ると本種は割合いる種なのかもしれない。美しいが小さい故に見落されているとも思われる。産地の報告を期待したい。

宝塚大橋の照明燈で採集した蛾(その1)

新 家 勝

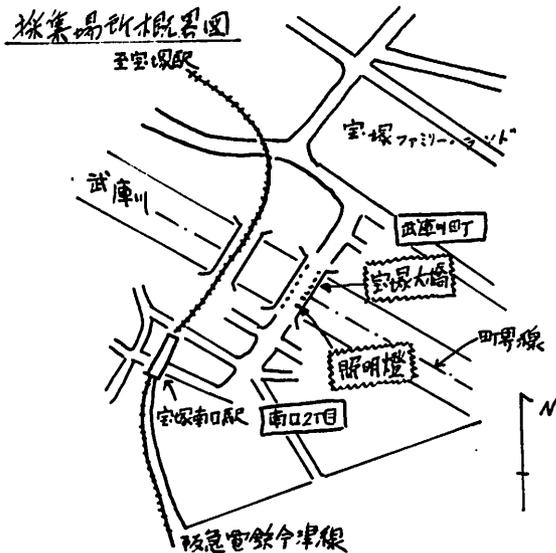
I はじめに

1978年9月末、拡張工事の完成に伴い宝塚大橋には多くの照明燈が点燈するようになった。これにともない、これらの照明燈を目差して多数の昆虫が飛来するようになった。小生は毎日、通勤時に阪急電鉄宝塚南口駅で乗下車するため宝塚大橋を渡っており、労せずして多種類の昆虫を採集できることになったので、ここでの昆虫調査を始めることにした。

ここで採集した昆虫は、蛾類が多いのは当然であるが甲虫類、半翅類、直翅類など各種にわたっている。採集場所は、概念図に示すとおり宝塚市の南口2丁目と武庫町にわかれている。ただし、これらの地域内には武庫川敷の草むらや特に武庫川町側は宝塚ファミリー・ランドの植込みなど昆虫の発生に適した場所が多いが、採集した昆虫は必ずしもこれらの地域で発生したものとは限らず、武庫山岩倉山等、付近の山地部で発生し、飛来したものも多いと思われる。

1978年以来、3年にわたって宝塚大橋での昆虫調査を続けて来たが、3年目の1980年には、新に採集できる昆虫は少なくなってきた。今後とも、この昆虫調査を続けていくが、とりあえず1980年末までの調査結果中、蛾類の採集品について紙面をお借りして報告させていただく。

なお、採集場所について「宝塚市」を省略して記載する。



II 調査結果

今回は、スズメガ科、ヤマムユガ科およびヒトリガ科について報告する。

Sphingidae スズメガ科

1. *Acherontia crathis* メンガタスズメ
 1979.7.16 武庫川町
2. *Herse convolvuli* エビガラスズメ
 1978.10.1 武庫川町
3. *Meganoton scribae* シモフリスズメ
 1978.10.1 南口2丁目
4. *Hyloicus caliginus* クロスズメ
 1979.6.22 南口2丁目
5. *Acosmeryx castanea* ブドウスズメ
 1979.6.5 武庫川町
6. *Theretra japonica* コスズメ
 1979.6.10 武庫川町
7. *Theretra oldenlandiae* セスジスズメ
 1979.5.28 武庫川町
8. *Theretra nessus* キイロスズメ
 1979.6.10 武庫川町

Saturniidae ヤマムユガ科

1. *Rhodinia fugax fugax* ウスタビガ
 1978.11.10 南口2丁目
2. *Antheraea yamamai* ヤマムユ
 1978.9.28 南口2丁目
3. *Dictyoploca japonica* クスサン
 1978.10.1 南口2丁目
4. *Actias selene gnoma* オナガミズアオ
 1979.5.25 南口2丁目

Artiidae ヒトリガ科

1. *Lithosia quadra* ヨツボシホソバ
 1979.9.20 南口2丁目

- | | |
|--|------------|
| 2. <i>Agylla gigantia</i> | キベリネズミホソバ |
| 1979.9.22 | 武庫川町 |
| 3. <i>Miltocrista striata</i> | スジベニコケガ |
| 1980.8.24 | 南口2丁目 |
| 4. <i>Spilarctia inaequalis inaequalis</i> | カクモンヒトリ |
| 1979.9.20 | 武庫川町 |
| 5. <i>Spilarctia subcarnia</i> | オビヒトリ |
| 1978.8.10 | 武庫川町 |
| 6. <i>Spilosoma lubricipeda</i> | キバラゴマダラヒトリ |
| 1979.5.22 | 武庫川町 |
| 7. <i>Spilosoma nivea</i> | シロヒトリ |
| 1979.9.7 | 武庫川町 |

三木市産のカミキリ追加記録

小 倉 滋

三木産のカミキリムシは平地故に数、種類ともに少く採集効率がよくないため調査する人が少く、そのむしの存在が確認されにくい。

三木産のカミキリムシは三木進氏の手で75種まで報告されているが、新たに確認されたものを追加記録として報告いたします。

76. *Stenodryas clavigera* Bates アメイロカミキリ
1980年5月8日朝日丘。くりの花にきているものを採集、小倉。
77. *Leptepania japonica* (Hayashi) ヤマトチビコバネカミキリ
1980年6月4日いわや、くりの木の枯れえだ。小倉、山本、三木、高橋。
78. *Distenia gracilis* (Blessig) ホソカミキリ
1980年8月17日安福田。クヌギ枯木、小倉。
79. *Grammographus notabilis* (Pascoe) キイロトラカミキリ
1980年6月7日と田、ケヤキのみき。小倉。
80. *Mesosa senilis* Bates タテジマゴマフカミキリ

1980年7月17日志染中，ハンノ木をゆすると落ちてきた。小倉。

81. *Pseudaolesthes chrysothrix* (Bates) キマダラヤマカミキリ

1980年5月14日志染中，クヌギの枯木を割って，小倉。

82. *Marthaleptura scotodes* (Bates) ツヤケシハナカミキリ

1980年6月7日口吉川，ガマズミの花で。小倉。

83. *Exocentrus testudineus* Matsushita キッコウモンケシカミキリ

1980年7月4日いわや，枯えだのたたきあみで。小倉

84. *Atimia okayamensis* Hayashi ケブカマルクビカミキリ

1979年4月3日朝日丘で三木進氏，4日興治にて小倉。

以上で84種になり平地では多いほうで，今後の調査がたのしみです。

タケウチヒゲナガコバネ赤西に産す

小 倉 滋

1979年5月22日赤西（波賀町）の国有林でカエデの花をスリーピングしているとコボトケヒゲナガコバネより大型で激しくうごき回るコバネを見つけた。採集記録のなかでも数少ないコバネなのでこおどりして持ち帰り同定しようと顕微鏡をのぞきビックリした。何回見ても他の標本と形が異なり，タケウチヒゲナガコバネに似ている。同定にあまり自信がないので文献でしらべて見ると，タケウチは四国，九州地方にしか住んでいないとのこと，私の標本がまゆつばに思えていよいよ自信がなく発表する勇気ももてずにいたが，一応タケウチとして期日と場所を記入後三木氏，遠山氏に同定を願ってもタケウチらしいとのこと，ついに遠山氏が上京の際持参して頂き同定を受けた結果まさしくタケウチコバネとのことであった。従ってこゝに報告させて頂く次第です。

また私が1980年度県内で採集した主な種をあわせて報告しておきます。

赤西：タカオメダカ（5月4日），コボトケヒゲナガコバネ（5月4日），ヤマトキモンハナ（5月27日），トワダムモンカミキリ（6月1日），ヤマトチビコバネ（6月4日），トウキョウキモン（6月12日材より羽化），コジマベニスジ（7月27日），フタコブルリハナ（5月17日）。

坂ノ谷：7月27日，ヒゲシロホソコバネ，トビイロカミキリ，クリイロシラホシ，シラホシキクスイ。

関宮町福定：8月7日，イツシキキモン，ムネホシシロ，キバネアラゲ。

以 上

アオナガタマムシ赤西の記録

遠山雅夫

アオナガタマムシ *Agrilus marcopoli ulmi* Y.Kurosawa は北海道・本州・四国・九州より記録されているが兵庫県は未記録であった。筆者は八木正道氏が採集された赤西溪谷産の本種を所持しているので記録しておきたい。貴重な標本を頂いた八木氏に厚く御礼申し上げる。

Agrilus marcopoli ulmi Y.Kurosawa, 1956

1♂, 宍粟郡波賀町赤西溪谷, 22. VII. 1979,

八木正道氏採集

フタスジカタビロハナカミキリ扇ノ山麓で採集

内藤親彦

1980年5月11日、美方郡温泉町管原で、フタスジカタビロハナカミキリ Evodinus *bifasciata japonica* (Matsushita, 1933), 1♂を採集しました。本種は兵庫県未記録とのことで、ここに報告します。

採集場所は扇ノ山山麓の標高約600mの谷斜面で、当日は快晴無風。早春に出現するハバチ類を採集中、偶然目の前に飛来したところを採りました。過去数度、同時期に当地を訪れていますが、今回が初めての発見です。

本種を記録するに当たり、種々ご教示頂いた高橋寿郎氏にお礼を申し上げます。

赤西渓谷でのシコクヒメコブハナカミキリ採集例

黒田 収

シコクヒメコブハナカミキリ *Pseudosieversia shikokensis* Hayashi は四国では花上及吹上げ等で毎年、少数採集されているらしいが、本州に於ける採集例は希めて少なく、筆者の知る限りでは飛騨小坂と京都府芦生の二例のみである。

筆者は赤西渓谷に於て1♂採集したので報告しておく。

1♂ 兵庫県宍粟郡波賀町赤西渓谷営林署前 15.VI.1980。当日、同地の川添の林道でカミキリ採集を行っていた際、午後3時頃カツラの生木(直径約15 cm)の地上高約4 M程の樹幹上に飛来した。

今迄の採集例はほとんどが花上とかカツラの木のひこばえ等で採集されているが、上記の様に生木上で採集された例は非常に珍らしく生態上、興味有ると思ひ合わせて報告しておく。

宝塚市清荒神周辺でのラミーカミキリと キョウトアオハナムグリの採集記録

加藤 信一郎

1. ラミーカミキリ 1ex. Jul. 18, 1978 基本型; 1ex, Jun. 27, 1979 基本型だが翅端黒色部にも青白色小紋をもつ; 1ex, Jul. 15, 1980 青白色紋は会合線近くまで拡大する; 宝塚市清荒神4丁目, 筆者採集・所蔵。

本種は、現在では普通種と見なして良いほど、県下には広く分布しているようである。宝塚市内でも武庫川西岸の紅葉谷での記録はあるが(高橋, 1979, きべりはむし), 東岸では今まで記録されていないと思われる。採品はいずれも自宅庭先のフヨウ(俗称セイヨウフヨウ)に飛来してき^たものである。

2. キョウトアオハナムグリ 1♂, Aug. 23, 1970 宝塚市売布山手1丁目, 筆者採集, 所蔵。少し古い採品だが、宝塚市内で採集された記録はないと思われるので、併せて報告する。採品は、売布神社参道入口に立つ石燈ろうの側のクヌギの古木に、樹液を求めて他のハナムグリ・カナブンと群がり集まっていたもので、夜間採集品である。

なお、種々ご助言を受け、発表を勧めて頂いた高橋寿郎氏に深謝申しあげる。

ウスイロコノマ採集の思い出

五十嵐 英 二

会誌8巻1号の高橋寿郎さんのコノマチョウの記事を誌んで、私にも思い出すことがあり、ここにそれを記しておこうと思います。

1971年6月20日、佐用郡上月町の上秋里あたりと思える所でウスイロコノマの夏型♂をひとつ採っています。当時は初めての久崎で、須磨区に住む日下部さんの車で案内してもらって行ったわけでした。朝から雨がパラパラしていましたがせっかくだからと出発し、上月駅が見えた頃には本気で降っていました。少し小降りになったことで、もう濡れてもかまわないと言う気持ちで車から降りて急いで竿をつなぎナラガシワを叩き廻りました。目的はヒロオビミドリでした。

しかし、なかなかゼフらしいものは姿を見せず、どうしても樹を見上げて長い竿を振るため、雨は目の中に入りナラガシワをめがけて振ったはずの6mも空を切って、そのまま地上へ思い切りよく私の身体ごと倒れたのでした。その倒れたネットをバラの一株に引っ掛けてしまい雨の降る中イライラしながら外しにかかったのですが半ば引き抜くような乱暴な方法でした。それに驚いたのかバラの近くから大きな黒いものが飛び出して、ほとんど私から1mと離れていない草の葉に止まったのでした。じいっとよく見つめると黒いものは茶色いチョウであり、その羽は波状模様の中に眼状紋がついていました。私は久崎まで来るとヒメウラナミジャノメもこんなに大きなものまでいるのかと思いました。兎に角オバケヒメウラナミは採るべきだと、バラのネットは破るように外して採れたのでした。雨はどんどん降り始めた頃でした。

ウスイロコノマとはっきりしたのは家に帰って図鑑を見てからでした。今でも久崎で、それも6月にウスイロを採ったことは変な感じがします。標本は古い個体でした。大阪自然史博物館へ持って行きました。

ついでの報告

日本産蝶類大図鑑 藤岡知夫著 のアオスジアゲハの解説で裏面の赤斑が黄色に変じた黄斑型があるが、ミカドアゲハのような黄斑型の確実な個体についてはっきりと記されていないのですが、私はその確実に黄斑型と言えるものを採ったことがあります。

西宮市戸崎町 1971年5月1日 ♀1頭

採った個体はほぼ完全なものでしたが、展翅板から外すときの事故があって傷めてしまいひどい修理品となったのでした。また採れると思って標本は大阪自然史博物館に持って行きました。その後全く採れません。

オオコクヌト送電線鉄塔脚部に集る
(兵庫県甲虫相資料・89)

高橋 寿郎

オオコクヌト *Tenebroides japonica* Reitter の幼虫は樹皮下(特に針葉樹)にすみほかの昆虫類(ゾウムシやキクイムシの幼虫など)を捕食し、成虫も樹皮下や樹皮上で昆虫類を捕食するとして知られているがその詳しい生態に就いては報告がないようである。

比較的大きな虫であるから採集例も多いのであろうと考えたが県下での記録はそれ程多くない。筆者も冬季枯れた松の樹を割って採集したことがあるが野外では余り採集していなかった。1980年神戸市垂水区押部谷町木見地区の調査をさせて貰った時尾根治に立てられている関西電力の送電用の鉄塔脚部、コンクリートで固められた台座上に行ってみたら必ず1~2匹の本種がきており、特に10月5日には1本の鉄塔で一挙に8匹もコンクリート上にいた(交尾状態のものは見られなかった)。鉄塔は大体頂上近くの見張らしの良い所に立てられておりどうも下から吹きあげられてきて止っているのではないかと思うのだが調べている鉄塔は5本で何時も来ている鉄塔は3本ときまっている。これも周囲の環境の影響だろうと思われるがお蔭で楽に採集出来ることがわかった(春から初夏にかけても同様なかどうか調査が8月下旬から10月上旬であったのでこの点不明である)。

因に県下の本種の産地の記録も一諸に次に記しておく(筆者所有標本は採集データを入れた)。洲本市安平町、先山[堀田, 1978]。川西市一の鳥居(1 ex., 17-VI-1953)。神戸市北区丹生山(1 ex., 15-V-1955)。下谷上(1 ex., 30-X-1979)。須磨区妙法寺(1 ex., 7-XII-1978, 1 ex., 26-I-1979)。垂水区押部谷町木見(2 exs., 17-VIII-1980, 2 exs., 18-IX-1980, 2 exs., 21-IX-1980, 12 exs., 5-X-1980)。宍粟郡波賀町赤西[奥谷, 1974]。氷上郡[山本, 1958]。美方郡扇ノ山[辻, 1963。辻, 岸田, 1972]。

○ ジュウシチホシハナムグリ坂の谷に産す

ジュウシチホシハナムグリ *Paratrichius septemdecimguttatus* は従来兵庫県下からの記録は美方郡扇ノ山広留野の1♀(21-VII-1959)があるだけだった〔湯浅, 1960, 辻, 岸田, 1972〕。1980年7月22日, 小倉 滋氏は坂の谷に採集に行かれてノリウツギに来ていた本種4♂, 2♀を採集されたので記録しておきたい。いずれも黒色型ばかりで赤褐色型はいなかったとのこと。このあたりにいることは大変うれしい。或は音水・赤西溪谷あたりにもいるかもしれない調べて見る必要がありそうである。同時に坂の谷でオオチャイロハナムグリの1♀を杉の空洞内より採集された(26-VII-1980), 本種もこのあたりに割合いるようで奥谷博士も採集しておられるようだし, 1979年7月22日小倉 滋, 三木 進両氏と坂の谷に採集に出掛けた時も小倉氏がブナの樹上を歩行中の1頭を採集しておられる。坂の谷は氷の山の南側面にあたる所で可成り開発が実施されている地点である。

記録の発表を赦された小倉 滋氏に厚く御礼申し上げる。また同氏から次の記録も頂いているのでここに合せて報告させて頂く。

● ルリヒラタムシ *Cucujus mniszecchii*

宍粟郡赤西, 1ex., 22-VII-1979, 小倉 滋氏採集。本種は城崎郡三川山, 美方郡扇ノ山, ハチ北高原が県下から記録されていて赤西からは初めてである。既に赤西ではベニヒラタムシも採集されているし(1ex., 23-VI-1979, S.Miki leg.), エゾベニヒラタムシが扇ノ山で記録されている〔辻, 1963., 辻, 岸田, 1972〕。この属の美しいもの3種がこのあたり一帯にいるようである。

● ネプトクワガタ *Aegus laevicollis subnitidus*, 三木市朝日丘, 1♂, 16-VI-1980, 小倉 滋氏採集。本種は特に珍しいと言えないかも知れないが県の中央部地域での記録は従来ほとんど無かった。従って本種が案外県下に広く分布している種のように思われる。

尚波賀町の三室山から鳥取県に向かって流れる加地川流域にはクロカタビロオサムシが大変多く冬季積雪時に苔下などで越冬しており, それからや西の方にある東山との間にある吉川の地域にはアカマダラセンチコガネが多いと。さらに沖ノ山の北西, 芦津~北股川, 八河谷~綾木谷川流域にはアオアシナガハナムグリが極めて普通に生息していると言う記録がある(恩藤, 江原, 1974)。共に宍粟郡の隣接地であり同郡下に記録の無い種である(兵庫県下でも記録は少い)。千種川上流地域は赤西, 音水溪谷と同様に調査しなくてはいけない地域のようなものである。

○ 神戸市内に珍しいタマムシが

1980年11月8日山手短大の田中 梓教授と四方山話をしていると同教授が神戸三中時代(現兵庫県立長田高校)高取山で採集されたタマムシが当時出版された"日本の昆虫, 第3巻, 第2号"にカラーの図版をつけて三輪勇四郎・中条道夫両博士著"本邦産タマムシ科の新種及稀種図説"の論文が発表されその9図に出ているタイワンフタオタマムシであったと。その後同教授は台北大学に学ばれその標本も持参三輪勇四郎博士にお見せしたら是非何かに記録しておく様にと言われてそのままになっていると言うお話だった。標本は勿論台湾に残されたまま帰国されている。標本が見られないのでそれが真のタイワンフタオタマムシであったのかどうか確かめることが出来ないが或は同属のトゲフタオタマムシであったのかも知れない。この種にしても兵庫県下から記録は無い。採集は昭和12-3年頃(1937-1938)とのことであるから現在の高取山とは全く違った自然状態であった事は確で今探しに行っているかどうか疑問であるが全くのぞみがないわけではない。三田学園高校々庭では近緑のヤノコモンタマムシが採集されている(きべりはむし, 7巻, 2号, 1979)。珍しいタマムシが身近にひっそりと棲息しているような気がする。また1つ夢が出て来たことになる。

○ 訂 正

小林桂助氏が1932年関西昆虫学会々報(3号:73-79)上に発表になられた"大阪附近の天牛"と題する報文は多くの六甲山でのカミキリムシの記録がふくまれていて大変重要な報文である。その中の74. *Paraglenea fortunei* Saunders カツラカミキリ 採集地, 六甲と言うのは学名と状況からしてラミーカミキリのことではないかと考え若しラミーカミキリであれば兵庫県下から一番古い記録になるので小林桂助氏に御願ひして記録に用いられた標本を検査する機会を御願ひした所心よく赦されたので御一諸に検査させて頂いたが残念ながらカツラカミキリとラベルのついたカミキリは5匹ありいづれも真のカツラカミキリ即ちチチブニセリンゴカミキリ *Nipponostenostola niponensis* (Pic) であった。採集ラベルがついていなく、小林氏は六甲山で採集したものではない、何か感違いだった様だとのことであった。したがってこの記録は取消しておいた方が良く考えられる(松村松年博士の図説にはカツラカミキリの学名に *Paraglenea fortunei* を使用しておられる, 1931)。関 公一氏も"御影町附近産の甲虫目録(其の二)"(昆虫界, 1巻, 4号, 1933)の中で小林氏の記録をそのまま引用しておられその後此の種に就いて疑問があるむね記しておられる(昆虫世界, 39巻, 452号, 1935), 当時それを確かめられないままに現在にいたっていたわけである, また関 公一氏が"兵庫県産の天牛科甲虫"(昆虫界, 9巻, 89号, 1941)の中で97. *Stenostola konoi* Kano

コウノセリンゴカミキリ 採集地一六甲(小林桂助)と記録された種も小林氏の標本中に見出すことが出来なかった。この記録も何かの間違いで取消しておいた方が良いでしょう(或は前記種のことを意味しているのかもしれない)。以上やっかいな筆者のお願いに気持ちよく古い標本の閲覧を赦された小林桂助氏の御好意に厚く御礼を申しあげたい。

さてラミーカミキリの方は神戸市内では普通種としてこの頃余り話題にもものぼらない。県下の新しい産地の報告もほとんどないようであるが仲田元亮氏は次の産地を御教示下さった。此処に記録しておき度い。

川辺郡猪名川町木津上(1 ex., 8-VII-1979, 仲田元亮氏採集)。尚兵庫県下ではないが大阪府豊能郡能勢町柏原で3 exs. 採集され(4-VII-1980), 多数発生していたとのことである。筆者自身は1980年8月1日飾磨郡夢前町我孫子(雪彦山の東の谷)に1979年に続いて2度目の訪問で本種がこの谷ぞいに多くいるのに遭遇した。

県 関 係 文 献 紹 介

- 登日邦明・三熊山の自然の価値を考える。

季刊 淡路の文化 第2巻, 第1号(昭和55年春号), P. 33-36.

一般の眼につきにくい雑誌のように思うが一。勿論表題のごとく昆虫関係の雑誌ではない。

三熊山の昆虫相についての僅かの記録がある。

- 神戸図書ガイド 1980年10月刊, 83P.

神戸の書店3店で共同出版した神戸に関する図書目録である。自然関係の本が案外少い。また機関誌・同好会誌的なものゝ収録がゼロなので吾々の利用価値は余りない。たゞ不思議なことに松浦役児・吉阪道雄著, 御影町附近産蝶類目録, 1951, 6P. とするのが1点出ている, 説明も何もない。これは“採集と観察”(30): 60-65, 1951の中での別刷だと考えるのであるが妙なものが入っているものである。どういう経緯で収録されたのかよくわからないがこの種のものを収録して貰えるのであればもっと他に重要な収録してほしい文献は多々あると思われる。

- “てんとうむし” 第6号, 1980年12月刊, 37P. (姫路昆虫同好会機関誌)。

なかなか立派な会誌である。内容は蝶の記事が多いが顔振れも多彩で楽しく有益に見られる。

- "兵庫県の自然" 10巻, 1号, 1980年12月発行, 74P。(兵庫県自然保護協会刊)。
豪華な本である。"友好訪中団報告特集"となっている。たゞこの協会の機関誌"兵庫県の自然"はどちらかと言えば昆虫関係の記事が少ないので私達にとっては大変物足りない機関誌の一つである。

- "MDK NEWS" Vol. 29, No. 81, 25p
1980年12月刊(虫同友会々誌)。
仲々立派な会誌である。たゞ残念なことに最近は県関係の報文が少なくなってきたような気がする。巻頭言で高田氏を書いておられるように同好会の悩は何処も同じである。

- 奥谷禎一・宝塚市の昆虫類。
宝塚市史, Vol. 7:512-523, 1980年12月刊
宝塚市に棲息する昆虫類を一般の人々に要領よく解説しておられる。

- "Parnassius" No. 24, 19p, "Insect" No. 25, 5p. 1981年1月刊(淡路昆虫研究会)。
本誌も着実に出版されている。1981年は創立15周年になる。大いに発展して頂きたい。

- 高橋寿郎・六甲山の昆虫たち, B 6, 190p. 1981年2月刊(のじぎく文庫)。
神戸新聞の三木進氏の御世話で"のじぎく文庫"昭和55年度配本の1冊として上記書を出版して頂きました。一般の方々を対象に書いたものですから昆虫専門の皆様には物足りないかと思えます。会員配本ですが一般書店でも販売しています(1冊, 1000円)。若し機会あれば読んでやって下さい。
また神戸新聞出版センターから出ている"グリーンライフ HYOGO" 1981年3・4月号特集"手を考える"に"虫の手"と題する一文を書かせて頂きました。(高橋)

昭和55年度収支報告書

自 昭和55年 1月 1日

至 昭和55年12月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
繰 越 金	47,500 ^円	きべりはむし	円
会 費	170,000	Vol.8, No.1印刷代	62,000
バックナンバー代	47,600	Vol.8, No.2印刷代	95,000
寄 附 金	1,000	郵 送 料	25,560
		事 務 用 品 代	3,200
		次 期 繰 越 金	80,340
計	266,100	計	266,100

○お 知 ら せ

昨年(1980)(株)神鉄エンタープライズの依頼で8月1日～15日の間神鉄ギャラリー“かもめ”(神鉄会館2階)にて“クワガタムシとカブトムシ展”(180種,900頭,ドイツ型標本箱14箱出品)を開催しまして思ったより好評でした。NHKテレビ8月7日P.M.6.40ニュースワイド640(UHF),P.M.8.50,NHKローカル西日本ダイアルでそれぞれ放映されましたので御覧頂いた方もあるかと思えます。さらに8月12日にはNHK FM P.M.6.00 スタジオ神戸“この人と語る”で兵庫県に自然史博物館建設をと言うことを中心に約20分放送して貰いました。本年も同じ時期になるかと思えますが(株)神鉄エンタープライズの依頼もありますので“コガネムシ・カブトムシ展”を開催して子供達に虫に対する興味を呼び起したいと考えています。機会があれば見てやって下さい。

また森林文化協会刊行“グリーン・パワー”1981年4月号に“兵庫昆虫同好会”の紹介記事を掲載して頂きました。

○交 換 誌

下記交換誌が送られてきております。本部に保管していますので御利用下さい。

因幡のむし, No. 14, 15 (鳥取大学昆虫同好会)。

すかしば, No. 10～15 (山陰むしの会)。

琉球の昆虫, No. 1～4 (沖縄昆虫同好会)。

編 集 後 記

第9巻第1号を御届け出来てホッとしています。今回も多くの方々に御無理を御願いで御寄稿頂き厚く御礼申し上げます。次号用の手持ち原稿はほとんどありません宜敷く御願ひします。

昨年暮れから本年に入りまして異常な程の寒さで拙宅も遂に2月26日夜の神戸の最低気温記録日に家屋内の水道管が破裂して水が使用出来なくなり困りました。今年の虫に与える影響はどんなものでしょうか。既にシーズンに入っています。皆様の活躍を御祈りします(T.)。

きべりはむし 第9巻 第1号

昭和56年5月25日 発行

発行：兵庫昆虫同好会

〒652 神戸市兵庫区氷室町1丁目44 高橋寿郎方

印刷：(株) 文 尚 堂

〒652 神戸市兵庫区下沢通3丁目4-11